

Corenet EdTech 通信

県立高校でもタブレット端末一人一台の時代です！ ICT整備への対応は十分ですか!?

GIGAスクール構想が 後押しに



昨年のGIGAスクール構想によって、公立学校を中心に1人1台のICT端末の導入が進みました。多くの公立学校でICT環境の整備が進んだ一方、活用についてはこれからという状態です。本格的な活用がされていくのは今年度からになるでしょう。

ここから先重要になってくるのはICT端末を導入しているかどうかではなく、ICT端末をどのように活用しているかになります。公立学校で利用をしていく生徒、それを見ている保護者からもよりICTをどのように使うのかという観点で見られるようになります。

今一度、ICT環境の整備状況について考えていただく必要があるかと存じます。

タブレット端末は 新時代の文具



生まれた時からICT機器に囲まれてきた今の中高生たちは、デジタル・ネイティブと言われ、何をするにもICT機器を使います。読む、書く、調べる、まとめる、表現するなど何にでもICT機器を使います。そういう意味では、いまやタブレット端末は、鉛筆や消しゴムと同じ文具の一つなのです。特別なものではなく、学習するためになくてはならないものです。

自分のスマートフォンを持参させ、授業で活用する方法もありますが、よほど自制心のある生徒ばかりの学校ではいいですが、一般にはコントロールが不能になります。

そこで、学校で指定したタブレット端末を購入してもらい、それを学習に使う学校が増えているのです。タブレット端末を制御するMDMというソフトを入れると、生徒の端末を一斉にコントロールすることもできますし、個別に利用を制限したりすることもできます。

また、特定のソフトしかインストールできないようにしたり、生徒の操作をモニターすることもできますので、ゲームで遊

んでしまう、YouTubeばかり見ているなんていうことも規制することは可能です。

学校指定のタブレットを 購入してもらうか



どこまで規制するのか、自由に使えるのかは学校の方針に合わせて設定することができます。また、すべての生徒に同じ機種 of タブレット端末を持たせるのではなく、指定した機種の中から生徒の希望で選ばせる方法もあります。さらには、生徒が既にタブレット端末を持っている場合はそれを持参させ、持っていない生徒だけ、学校指定の機種を選んで購入するというCYOD(Choose Your Own Device)という方法もあります。

いずれにしても、もうタブレット端末を持たないという選択肢はなく、いずれの形で活用するのかを考える時代になっています。いま活用ができていない学校は早急に対応する必要がありますと言えるでしょう。

2022年度 導入に向けて



私たち、コアネット教育総合研究所は、このような状況を鑑み、私立中学校・高校のICT環境整備のお手伝いを強化しております。従来より私学の経営支援や教育支援を行っていますが、いま私学経営でもっとも重要な課題は、ICT活用だと考えています。ただし、タブレット端末をただ導入すればよいということではありません。きちんと教育活用のイメージを持ち、方針を策定して臨まなければなりません。

コアネット教育総合研究所では、方針策定から導入後の活用フォローまでトータルでお手伝いをいたします。ぜひ裏面をご覧ください、お問い合わせください。貴校のますますのご発展を祈念いたします。

導入のその後！ ICT利活用推進研修

GIGA スクール構想によって多くの学校に一人一台の端末が導入される中、今後重要視されるのは ICT 端末を「どのように使うのか」です。コアネットではICT利活用推進のための研修を実施しております。一歩進んだ活用をお考えの場合、是非ご検討ください。

研修テーマ例

- ICT端末を用いた授業の実践事例の紹介
- ICT利活用のビジョン策定、見直し
- ICTツールの操作方法・活用方法の案内
- 利用目的に応じた活用アプリの紹介

ICT導入を考えるなら

コアネットICTソリューションにご相談ください

ICT機器選定相談

教員研修ICT導入研修

ICT利活用アドバイス

お問い合わせはこちら

住所 〒224-0003
横浜市都筑区中川中央1-26-10

TEL 045-914-3005
(担当：岡田、川田)

E-mail info@core-net.net

オンラインでの学びに役立つサイト公開中

URL www.core-net.net/ict/

教育と学校経営専門のシンクタンク&コンサルティング企業



コアネット教育総合研究所

